

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

5/17久留里線と地域を守る会 廃線反対署名5691筆提出



5月17日の千葉支社への署名提出行動

JR千葉支社への申し入れ内容（要旨）

1. 久留里線の列車本数、特に久留里駅～上総亀山駅間を増やしてください。
2. 久留里駅～上総亀山駅間の収入100万円に対して営業経費2億8100万円という数字だけが宣伝されているが「赤字」の実態を明らかにしてください。
3. 久留里駅から上総亀山間にも企画・イベントを拡大してください。
4. 中川支社長のいう「利便性が向上する交通体系のあり方を総合的な観点から検討する必要」とはどういう意味ですか。
5. 署名を集める過程でも久留里線は欠かせない存在という言葉に沿線住民からいただきました。
8. 5月11日の「検討会議」の参加者である貴社のご意見を聞かせてください。

JR東日本千葉支社から千葉県・君津市への申し入れを受けて、5月11日に「JR久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討会議」が開催されました。

検討会は、開催のわずか3日前に発表され、数名の代表を除き沿線住民の傍聴さえ認められませんでした。

〳地域にとつて必要な交通機関〳

久留里線沿線住民を中心とした「久留里線と地域を守る会」は検討会に対して抗議の申し入れを行い、5月17日にはJR千葉支社への署名提出と記者会見を行いました。提出行

動では5691筆の廃線反対署名と千葉支社への申し入れが提出されました。3ヶ月ほどの期間で地元住民からこれほど多くの署名が寄せられたことに、地域にとつて重要な交通機関であることが改めて示されています。

三浦代表は17日の記者会見で、「久留里線を突破口に全国の赤字路線を廃線にしようとしているのかもしれない。何とか踏ん張りたい」「通学や通勤など生活に必要な交通機関です。存続を求めて今後は国土交通省などにも働きかけていきたい」と訴えました。

地域の怒りとともに、廃線化・ワンマン運転拡大、業務融合化に反対の声をあげよう。